

ホーム > 市民レポート > ♪第5回「ハーブを囲む会」に行ってきました♪

♪第5回「ハーブを囲む会」に行ってきました♪

3月5日(金)東久留米第九小学校で、3年生を対象とした「ハーブを囲む会」が開催されました。今回で5回目との事。どうしてこんな素敵な事が始まったのか・聞いてみました。第九小学校で野菜を栽培する時にお世話になっている野菜名人 金子操さんが、5年前にハーピストのお母様から「チャリティーのための鍋料理や菜めしに使う葉つき大根を使いたい」ということで、大根を届けた事から始まりました。実は、その大根を育てていたのが九小の3年生であることに大感激され、そのお礼にと毎年大根とハーブの交歓・となったそうです。



今回は、プロのギター奏者 永谷 義篤さんによるギターというスイスで使われている弦楽器の演奏もありました。なんとチロルからチロル名誉市民の認定を受けておられる方で、ヨーデル歌手としても活躍されています。とても優しい音色に子ども達も真剣に聴き入っていました。

近くにある「こもれび滝山」の皆さん、子ども達がお世話になっている滝山農業塾園主さん、滝山農業塾生のみなさんも、子ども達と一緒に演奏を楽しんでいました。演奏だけでなく子ども達の笑顔も楽しんでいる様でした。

ハーピスト 伊佐津 綾子さんによるハーブの演奏。盲導犬育成の為のチャリティーコンサート、病院や老人施設でもボランティアで演奏されているそうです。ギターと同じく透き通るような音色でした。



みんなでハーブの演奏に合わせて合唱♪ 私も写真を撮りながら口ずさんでいました。音楽は「耳で楽しむ！目で楽しむ！」と、伊佐津 綾子さんがおっしゃっていました。その通りですね♪

大きな器が登場！！な～んとこれ、スイスの民族楽器ターラーシュビュンゲンという楽器なんです！！クルクル廻しながらヨーデルを歌うんだそうです！実は。。本当にチーズを作る時に使う器で、昔、スイス地方の人が、ふとポケットにあったコインを投げ入れてみたら、なんと不思議な音色が！！という事で楽器になったらしいです。

ヨーデルを歌って下さいました。ヨーデルと器の音色がびったり♪ピッキリです！

ん～家にあるドンブリで挑戦して演歌でも歌ってみようかな・・・

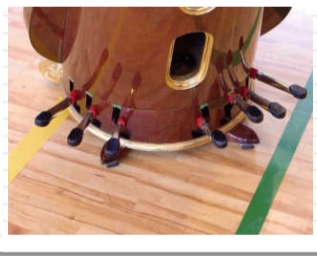


次は。。。穴の空いたロール状の紙？

ずいぶん長いですね。たくさん穴が空いてますよ～。

先ほどのロール状の紙は、手で廻して音をだすオルゴールに使うものだと思います。穴が開いている部分を読み取りながら音がでていきます。メリーゴーランドに乗ると同じ音色が聞けるそうですが、この原理で音を鳴らしているんだそうです。。豆知識だ！

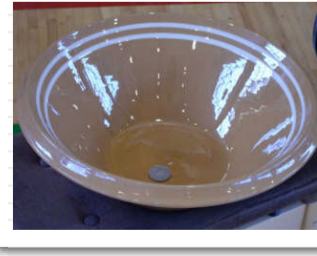
最後に、子ども達からお礼の花束を渡しました。最後まで、キチンと静かに聴いていて、えらいなあ～と感心しました。



これがギターです。30本の伴奏用弦と5、6本の旋律用のフレット付き弦が張られていて、これを親指につけたプレクトラムと呼ばれる爪を使って弾くものだそうです。なんだか日本の琴に似てますね。

これはハーブの足元のペダル。7本のペダルがあり、ドからシの7つの音に対応しているそうです。ピアノで言えば黒の鍵盤でしょうか？こんな近くで見たのは初めてです。

なんとも言えない可愛いオルゴール・・・ 車輪や手押し部分があり移動可能です。昔は演奏しながら街を歩いていたのでしょうか？



上の部分に穴の空いたロール状の紙を入れて、手前にある持ち手をクルクル廻して音を出します。廻すスピードが遅いと、きれいに曲が流れないんです！む・難しいなあ。。

「以外と重いのね」と手にとって観察中・・・ターラーシュビュンゲンは、大人も気になりますよね・・・見た目は大きな器なんです。中にあるコインを投げてクルクルの壁にそって廻ります。

ちなみに500円玉だと、きれいな音がでないそうで、やはり銀コインが一番良い音を出すそうですよ。

大根とハーブの繋がり・・・以外な事だけど、とても素晴らしい繋がりだな、と思いました。

今回、取材にご協力頂きました各関係者の皆様、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

ぼよ子